

シラバス

| 科目名 | 単位数 | 学年 | 必修・選択 | 対象学科 | 備考 |
|------|-----|----|-------|---------------------|----|
| 国語総合 | 4 | 1 | 必修 | 普通科 国際人文科 体育科 | |

1. 科目概要および目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化への関心を深める。

2. 成績評価

中間考査、期末考査、実力テスト、早朝テスト等のテスト点に、提出物やプリントなどを加算して成績を出す。勤怠状況も加味する。夏期休業期間の課題である読書感想文は2学期初回の授業で必ず提出させる。

3. 使用教科書・教材

精選国語総合（東京書籍） 国総333
『精選国語総合学習課題ノート』（東京書籍）
『カラー版新国語便覧 新訂三訂版』（第一学習社）
『基礎から学ぶ解析古典文法』（桐原書店）
『古典文法クリアノート』（尚文出版）
『基礎から解釈へ漢文必携四訂版』（桐原書店）
『改訂版 Key&Point 古文単語 330』（いいずな書店）
『常用漢字ダブルクリア三訂版』（尚文出版）

4. 授業の展開と形態

一斉授業（1クラス40人）

5. 学習方法

家庭学習を早く習慣づけることがもっとも大事なことである。新しい単元に入る前にあらかじめ読んでおき、読めない漢字、意味が分からない語句をチェックしておく。
教科書に準拠した「学習課題集」は、予習として事前に解答しておく。ノート作成は各自で工夫して、テスト前復習での確認に役立つように整理する。授業には積極的に参加し、発言する。

6. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際考慮すべき事項

全学科にわたって必修

(2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

国公立大学や一部私立大学の入学試験で必須となる大学入試センター試験では「国語」として1科目設定されているが、その基礎であると同時に主要な出題範囲になっている。1年次から決しておろそかにできない科目である。

様式2

1年「国語総合」

シラバス

那覇西高等学校

| 月 | 時数 | 学習項目 | 学習内容(ねらい)および評価の観点 | a | b | c | d | e | 評価方法 |
|---|----|----------|--|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 4 | 届く言葉 | <ul style="list-style-type: none"> 随想の読み方を習得する。 相手に「届く言葉」とそうでない言葉の違いについて、対比的に書かれた随想を読み取る。 | ○ | ○ | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 3 | スピーチをする | <ul style="list-style-type: none"> スピーチをしたり聞いたりする際の留意点を理解し、実際にスピーチをする。 スピーチの意義や、スピーチによる交流の楽しみを理解する。 | ○ | ○ | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 4 | 記憶にない街路樹 | <ul style="list-style-type: none"> 身近な風景の変化とそこから生じた思いについて書かれた随想を、具体例に注意して読み取る。 | ○ | ○ | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 2 | 意見文を書く | <ul style="list-style-type: none"> 意見文の書き方を理解し、実際に意見文を書く。 意見文をもとに発表する。 意見文を書いたり他の人の意見を聞いたりすることにより、もの見方や考え方を広げる。 | ○ | ○ | ○ | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| 5 | 2 | 古文入門 | <ul style="list-style-type: none"> 古文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 古文と現代文の違いを理解し、今後の学習のポイントを把握する。 伝統的な言語文化への興味・関心を広げ、古典を尊重し継承していく態度を育てる。 | ○ | | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 4 | 児のそら寝 | <ul style="list-style-type: none"> 古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 歴史的仮名遣いを理解する。 文語と口語の違いを理解する。 | ○ | ○ | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 4 | 絵伝師良秀 | <ul style="list-style-type: none"> 古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 文語文と口語文の違いを理解する。 品詞の種類について理解する。 活用の概念について理解する。 係り結びについて理解する。 芸術至上主義や職業意識について話し合い、理解を深める。 | ○ | ○ | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 6 | 羅生門 | <ul style="list-style-type: none"> 小説の基本的な読解方法を習得する。 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 近代の代表的な小説を読んで、短編小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 芥川龍之介に対する理解を深める。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| 6 | 3 | 漢文入門 | <ul style="list-style-type: none"> 漢文に親しみを持つ。 漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法を理解する。 訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。 漢和辞典の引き方に慣れ、学習に役立てることができるようになる。 古代中国人のもの見方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 4 | 寓話 | <ul style="list-style-type: none"> 漢文訓読の基本事項を確認する。 平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。 故事成語のもとになった寓話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解する。 古代中国人のもの見方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| 7 | 6 | 水の東西 | <ul style="list-style-type: none"> 二項対立的な評論の読解方法を習得する。 西洋文化と対比された、日本文化の特徴について理解を深める。 幅広く柔軟な思考力を養う。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 4 | 徒然草 | <ul style="list-style-type: none"> 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 助動詞・助詞について理解を深め、口語訳に生かす。 敬語について理解する。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |

| | | | | | | | | | |
|----|---|--------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2 | 読書の効用 読書感想文の書き方 | <ul style="list-style-type: none"> 読書の効用について考える。 読書感想文の書き方を学ぶ。 読書感想文を書く。 | ○ | ○ | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| 9 | 6 | 城の崎にて | <ul style="list-style-type: none"> 小説の読解方法を習得する。 近代の代表的な小説を読んで、小説についての理解を深め、そのおもしろさを味わう。 生物の生と死について認識を深める。 志賀直哉に対する理解を深める。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 6 | 伊勢物語 | <ul style="list-style-type: none"> 歌物語を読んで、古文に親しむ。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 歌物語における和歌の役割を理解する。 和歌を味読し、修辞技巧を理解する。 助動詞について理解し、口語訳に生かす。 係り結びの知識を確認する。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| 10 | 6 | 唐詩 | <ul style="list-style-type: none"> 唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているかを考える。 漢詩のきまり（詩形・押韻・構成・対句）について理解する。 詩に表現された作者の心情について理解する。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 6 | 欲望と科学 | <ul style="list-style-type: none"> 評論の読解方法を習得する。 全体の構成を把握し、論の展開に即して正確に内容を読み取る。 科学という現代的なテーマに触れて、多角的なものの方見方や考え方を身につける。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 4 | 話し合いをする | <ul style="list-style-type: none"> 話し合いのしかたや留意点を理解し、実際に話し合いをする。 話し合いを通して、問題の解決を図ろうとする姿勢を身につける。 | ○ | ○ | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 5 | 土佐日記 | <ul style="list-style-type: none"> 日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 文章の表現上の特色を理解する。 助動詞の識別や接続について理解する。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| 11 | 6 | 史話 | <ul style="list-style-type: none"> 比較的長い、平易な文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、そこから生まれた故事成語・成句などを正しく理解する。 中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 2 | 冬が来た | <ul style="list-style-type: none"> 詩の鑑賞のしかたを習得する。 繰り返しの表現にこめられた作者の心理について考え、想像力や感受性を養う。 散文とは異なる詩ならではのイメージを、積極的に味わう。 | ○ | ○ | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 2 | I was born | <ul style="list-style-type: none"> 詩の鑑賞のしかたを習得する。 散文詩に親しみ、イメージの展開をつかむ。 生まれることの意味について、自分なりの考えを深める。 | ○ | ○ | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| 12 | 7 | 真の自立とは | <ul style="list-style-type: none"> 評論の読解方法を習得する。 全体の構成を把握し、論の展開に即して正確に内容を読み取る。 「真の自立」について考え、自己に対する理解を深める。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| | 5 | 竹取物語 | <ul style="list-style-type: none"> 昔話としてなじみのある作品を読み、古文に親しむ。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 用言の活用について理解する。 口語訳の力を身につける。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |
| 1 | 4 | 思想 | <ul style="list-style-type: none"> 中国の思想を代表する儒家思想の概略を捉える。 『論語』における孔子の考え方を理解する。 孔子の思想が、現代においてどのような意味を持っているかを考える。 | ○ | | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 学習課題の提出 定期考査 その他 |

| | | | | | | | | | |
|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 鏡 | <ul style="list-style-type: none"> ・小説の鑑賞方法を習得する。 ・「僕」の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ・一人称の語りという表現形式の効果について考える。 ・「僕」の感じた「恐怖」とはどのようなものか考え、話し合う。 | ○ | ○ | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出 ・定期考査 その他 | |
| 4 | 平家物語 | <ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・音便について理解する。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出 ・定期考査 その他 | |
| 2 | 3 | 十五の心 | <ul style="list-style-type: none"> ・短歌の鑑賞のしかたを習得する。 ・近代短歌の代表的な歌人・作品について、理解を深める。 ・日本語への理解を深め、想像力や感受性を豊かにする。 ・短歌の特徴について、興味・関心を持つ。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出 ・定期考査 その他 |
| 3 | 3 | 白牡丹 | <ul style="list-style-type: none"> ・俳句の鑑賞のしかたを習得する。 ・近代俳句の代表的な俳人・作品について、理解を深める。 ・日本語への理解を深め、想像力や感受性を豊かにする。 ・俳句の特徴について、興味・関心を持つ。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出 ・定期考査 その他 |
| 2 | 2 | 万葉集 | <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌によまれた思想・感情・情景を読み取る。 ・和歌の修辞技巧や『万葉集』の時代の表現・語法上の特色を理解する。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出 ・定期考査 その他 |
| 3 | 2 | 古今和歌集 | <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌によまれた思想・感情・情景を読み取る。 ・和歌の修辞技巧や『古今集』の時代の表現上の特色を理解する。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出 ・定期考査 その他 |
| 2 | 2 | 新古今和歌集 | <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌によまれた思想・感情・情景を読み取る。 ・和歌の修辞技巧や『新古今集』の時代の表現上の特色を理解する。 | ○ | | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出 ・定期考査 その他 |
| 4 | 4 | 創作をする | <ul style="list-style-type: none"> ・創作のしかたを理解し、実際に創作をする。 ・創作をしたり読んだりすることにより、創作の楽しさを味わうきっかけとする。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出 ・定期考査 その他 |